

新生 49 名迎え新学期

4 月期は新生 49 名を迎え、7 クラス 120 名でスタートしました。4 月 4 日にプレースメントテスト、5 日に入学式とオリエンテーション、在校生を交えて歓迎パーティーを行ないました。今学期の国籍分布は、台湾 66%、インドネシア 18%、タイ 5%、マレーシア 4%、香港 4%、その他です。

◆◆◆ 越野理事長 新生歓迎のあいさつ ◆◆◆



みなさん、日本語ができる人、手を挙げてください。……案外少ないですね。ふつう、外国人に「日本語ができますか」と聞くと、簡単な挨拶しかできな

くても、「できます」って言う人が多いですよ。

一方、外国人が日本人に、「英語ができますか」と質問すると、ほとんどの日本人は「できる」とは言いません。つまり、日本人は言葉に対する期待のレベルが高いんですね。ですから、その裏返しとして、外国人がちょっとでも日本語をしゃべってくると、ものすごくうれしいんです。日本語を学ぶことはとても難しいことだと日本人は信じているので、どんなに片言でも、みなさんが日本語で日本人に話しかけると、日本人は喜ぶのです。

失敗を恐れずに、どんどん日本語でコミュニケーションしてください。どんどん日本人に話しかけてください。もちろん中には怖がったりするシャイな人や、外国の人に話しかけられるのがいやだと言う人もいますが、私は 8 割の人は喜ぶと思いますよ。

さっき校長先生が皆さんに、この学校に入った目的は何ですか、という質問をしました。井上先生と私も、この学校で日本語を皆さんに教える目的は何だろう、と話し合うことがあります。井上先生と私で一致していることは、この学校で日本語を教えるのは、世界平和のためだということです。笑っちゃう人もいるかもしれませんが、二人とも本当にそう信じているんです。

みなさんは、先ほど、「大学に入る」「大学院に入る」「日本語を使う仕事に就きたい」という目的を、それぞれ話しました。でもそれらは、直近の目的で

あって、もっと先、もっと大きな目的としては、やはり、幸福を得たいということではないかと思うんですね。

世界平和というのは、言い換えれば、世界中の人がみな幸せになるということです。言葉は幸せになるための道具です。そしてコミュニケーションは幸せになるための行動です。みなさんは JET で、幸せを得るための道具を身につける努力をしてください。そして、それを使ったコミュニケーション、行動を起こしてください。あなた方が行動を起こした相手、その話しかけた相手も、そこで幸せになります。相手が幸せになれるから、自分も幸せになれるんです。それがベストなコミュニケーションです。

幸せになるために、みんなで一生懸命頑張ります。先生方も、みなさんが幸せになるために厳しくします。

最後に、日本一の日本語学校である JET 日本語学校に来てくださったことに感謝し、みなさんを心より歓迎して、私のご挨拶といたします。

86 名に修了証書

3 月 3 日、卒業式が行われ、進学科 30 名、基礎科 56 名に修了証書が授与されました。A クラスの Thuptianrat Napatsorn さん(タイ)が卒業生代表の挨拶を述べました。式には、タイ王国大使館のソムジャイ公使参事官を来賓としてお迎えしました。



10 名に皆勤賞

卒業式では皆勤賞の表彰がありました。1 年 9 か月皆勤の葉敏潔さん(台湾)、1 年半の Nunkhaw Maiyatat さん(タイ)、王韋傑さん(台湾)、林家安さん(台湾)、そして 1 年の廖怡霽さん、游明倫さん、黄得源さん、簡世宇さん、黄敏婷さん、蔡語喬さん(以上、台湾)の合計 10 名に、賞状とともに後援会から図書カードが贈られました。

祝 合 格

(3月31日現在)

【大学院】

何宜諺 (台湾) 慶應義塾大学大学院 文学研究科(日本語教育学)
(修士課程)

方敏怡 (台湾) 早稲田大学大学院 国際コミュニケーション研究
科 (修士課程)

方敏怡 (台湾) 青山学院大学大学院 国際政治経済学研究科
(修士課程)

Pandu Bawono Adi (インドネシア) 東京理科大学大学院 理工
学研究科 (修士課程)

陳妍彤 (台湾) 文化学園大学大学院 生活環境学研究科 (修士
課程)

游韋廷 (台湾) 多摩大学大学院 経営情報学研究科 (修士課程)

游韋岑 (台湾) 拓殖大学大学院 工学研究科 (修士課程)

林萼 (台湾) 東海大学大学院 工学研究科 (修士課程)

劉奇鑫 (台湾・2016.3 卒) 国立大阪大学大学院 工学研究科
(博士課程)

Chamnongthai Komi (タイ・2015.11 終了) 国立京都大学大学
院 工学研究科 (修士課程)

【大学】

Kevin Alexander (インドネシア) 国立東京工業大学 工学部 理工学科
羅雲瀨 (マカオ) テンプル大学ジャパンキャンパス

林于玲 (マカオ) 山口県立大学 国際文化学部 文化創造学科

林于玲 (マカオ) 大阪観光大学 観光学部 観光学科

江海茵 (台湾) 明治学院大学 国際学部 国際学科

洪婉倫 (台湾) 東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科

洪婉倫 (台湾) 上智大学 総合グローバル学部 総合グローバル学科

游中翔 (台湾) 多摩美術大学 美術学部 彫刻学科

游中翔 (台湾) 武蔵野美術大学 造形学部 彫刻学科

金泰明 (韓国) 中京大学 経営学部 経営学科

金泰明 (韓国) 名城大学 法学部 法学科

宋亨根 (韓国) 東京理科大学 理工学部 建築学科

宋亨根 (韓国) 関西大学 環境都市工学部 建築学科

宋亨根 (韓国) 法政大学 デザイン工学部 建築学科

Adwitiyo Pramudito (インドネシア) 東洋大学 経済学部 国際経済学科

Adwitiyo Pramudito (インドネシア) 中央大学 経済学部 公共環境経済学科

Frans Jonathan (インドネシア) 日本大学 理工学部 建築学科

Kenny Hidayat (インドネシア) 東海大学 工学部 動力機械工学科

Michelle Nadya Tanoto (インドネシア) 日本女子大学 家政学部 被服学科

Michelle Nadya Tanoto (インドネシア) 明治大学 国際日本学部

Muhammad Rakha Satria (インドネシア) 拓殖大学 商学部 国際ビジネス学科

Stefan Christiawan Muhsin (インドネシア) 法政大学 経済学部 経済学科

Theodorus Alvin (インドネシア) 東海大学 情報理工学部 情報科学科

Jadram Narumon (タイ) 芝浦工業大学 工学部 通信情報学群・通信工学科

Jadram Narumon (タイ) 東京都市大学 知識工学部 情報通信工学科

Nunkhaw Maiyatat (タイ) 芝浦工業大学 工学部 土木工学科

Nunkhaw Maiyatat (タイ) 東京都市大学 工学部 都市工学科

Thuptianrat Napatsorn (タイ) 明治大学 農学部 生命科学科

Thuptianrat Napatsorn (タイ) 東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科

Eap Karl Bil (フランス) 東海大学 工学部 生命化学科

Liu Yi Chan (マレーシア) 東京理科大学 理工学部 建築学科

Liu Yi Chan (マレーシア) 芝浦工業大学 建築学部 都市・建築デザインコース

Liu Yi Chan (マレーシア) 東京都市大学 工学部 建築学科

【専門学校】

王春閔 (台湾) 文化外国語専門学校 日本語通訳ビジネス科

王韋傑 (台湾) 中央工学校 建築設計科

呉艾芳 (台湾) 専門学校桑沢デザイン研究所 総合デザイン科(編入)

林家安 (台湾) 専門学校桑沢デザイン研究所 総合デザイン科

鄭曉彤 (香港) 専門学校桑沢デザイン研究所 総合デザイン科

蕭耀宗 (台湾) 専門学校 ESP ミュージカルアカデミー ミュージシャン科

安其潤 (韓国) 専門学校 ESP ミュージカルアカデミー ギタークラフト科

Liew San Lom (マレーシア) 専門学校 ESP ミュージカルアカデミー

林紘瑋 (台湾) 東京スクール・オブ・ビジネス ショップビジネス科

Adrian Rhesa Septian Siswanto (インドネシア) 日本工学院専門学校 ゲームクリエイター科

Clarissa Tantra (インドネシア) 日本工学院専門学校 グラフィックデザイン科

Pheng Yi Lin (マレーシア) 東京アニメーションカレッジ専門学校 アニメーション学科

Annisa Saraswati (インドネシア) 専門学校東京ネットウエイブ アニメ総合学科

Rachel Nathania Hoo (インドネシア) 専門学校東京ネットウエイブ アニメ総合学科

Ashley Ong Chooi Ling (マレーシア) 専門学校東京ネットウエイブ ゲーム総合学科

Giovanni Carlo Henrico (インドネシア) 東京モード学園 モード基礎学科

Griselda Tedja (インドネシア) 横浜デザイン学院 総合デザイン科

Lontar Karuna Adirakayan (インドネシア) 東京デザイナー学院 イラストレーション科

蘇樂欣 (香港) 日本デザイナー学院 イラストレーション科

Pholpipattanaphong Kamornrat (タイ) 東京調理製菓専門学校 パティシエ・ブーランジェ科

李學儒 (台湾) 服部栄養専門学校

黄千芸 (台湾) ホスピタリティ ツーリズム専門学校 エアライン科

Tan Chyi Song Gabriel (マレーシア) 東京観光専門学校 ホテル学科

2017 年度の奨学生 4 名決定

文部科学省から給付される学習奨励費生には、進学科から Lin Frank さん(USA)、基礎科から許世閔さん(台湾)が選ばれました。卒業後に進学先で給付が約束される 2018 年度の学習奨励費生には 4 名が選ばれました。

また、高山国際教育財団の奨学生には、張捷明さん(台湾)とタカギ カズヨシさん(インドネシア)が決定しました。共立国際交流奨学財団の奨学生には、校内で李銘峻さん(台湾)が選考され財団に推薦されました。

2016 年 12 月の日本語能力試験(JLPT)結果

N1 校内ベスト 5 (180 点満点)					N2 校内ベスト 5 (180 点満点)				
順位	クラス	氏 名	出身	総合点	順位	クラス	氏 名	出身	総合点
1	A	Michelle Nadia Tanoto	インドネシア	1 4 5	1	C	練 卓珩	香港	1 5 3
	A	Thuptianrat Napatsorn	タイ		2	E	廖 巧節	台湾	1 4 3
3	A	洪 婉倫	台湾	1 4 1	3	E	蔡 瑜芸	台湾	1 4 1
4	A	宋 亨根	韓国	1 3 7	4	B	Felia Tanri	インドネシア	1 2 0
	A	Stefan Christiawan Mihsin	インドネシア		5	B	Kenny Hidayat	インドネシア	1 1 7

非漢字圏の N1 合格率 55.6%

昨年 12 月 4 日に実施された 2016 年度第 2 回日本語能力試験(JLPT)の結果、N1 級では校内 38 名中 21 名が合格しました。合格率は 55.3%でした。非漢字圏からの学生について見ると、18 名中 10 名(55.6%)が合格しました。

N1 の校内平均は 102.3 点で、進学クラスの平均は 107.3 点でした。

初級から 1 年 2 か月で N1 トップ合格

今回の N1 トップはインドネシアの Michelle Nadia Tanoto さんとタイの Thuptianrat Napatsorn さん。ともに 2015 年 10 月に入学しましたが、Michelle さんは「あいうえお」からのスタート。正味 1 年 2 か月の学習で素晴らしい成績を修めました。

年間 26 名が N1 合格

昨年 7 月の N1 合格者 5 名と合わせて、2016 年度は 26 名の N1 合格者が生まれました。N1 通算合格率は、2015 年度より 3.5 ポイント上昇し、57.8%になりました。

N1 分野別で満点 5 名

N1 の「聴解」の分野では Michelle さん、洪婉倫さん、宋亨

根さん、Nunkhaw Maiyatat さん(タイ)の 4 名が 60 点満点。「読解」の分野では Thuptianrat Napatsorn さんが 60 点満点でした。

N2 合格率 7 割

N2 では 32 名中 20 名が合格しました。トップは香港の練卓珩さんで、153 点でした。校内平均は 97.3 点でした。

昨年 7 月の N2 合格者 38 名と合わせて、2016 年度の N2 合格者は 58 名になりました。通算合格率は 69.0%です。

N2 分野別で満点 5 名

「読解」の分野では練卓珩さんと蔡瑜芸さんが 60 点満点。「聴解」の分野では廖巧節さん、Kenny Hidayat さん、Pholpipattanaphong Kamornrat さん(タイ)の 3 名が 60 点満点でした。

N3 は 14 名が受験し、13 名が合格。トップは Lin Frank さん(USA)で 179 点(180 点満点)でした。Lin さんは「読解」と「聴解」が 60 点満点でした。N4 は 3 名中 1 名が合格しました。

(JLPT の合格ラインは、N1 が 100 点、N2 が 90 点、N3 が 95 点、N4 が 90 点、N5 が 80 点。いずれの級も 180 点満点。)

先輩を招いて進学座談会

5 月 2 日、9 日の両日、大学・大学院進学座談会が行われました。2 日は主に日本語の勉強について卒業生 3 名 (明治大学文学部の蔡佐承さん、明治大学国際日本学部の Michelle Nadia Tanoto さん、上智大学総合グローバル学部の洪婉倫さん) が話してくれました。

9 日は初めての試みとして、学部理系の学生たちに理系科目の勉強方法について話してもらいました。卒業生の陳冠宇さん (千葉大学理工学部)、Theodorus Alvin さん (東海大学理工学部) に来てもらいました。

同日、大学院の座談会も行われ、張仕穎さん (東京大学大学院博士課程理工学研究科)、何宜諺さん (慶應義塾大学大学院修士課程文学研究科)、陳妍彤さん (文化学園大学大学院修士課程生活環境学研究科)、Pandu Bawono Adi さん (東京理科大学大学院修士課程理工学研究科) には、研究計画書の書き方、テーマの選び方などをじっくり話してもらいました。

後援会会費納入のお願い

JET 日本語学校後援会は奨学金・学習奨励金の給付等を行い、本校で学ぶ学生達を支援しています。校内スピーチ大会での賞品の一部は、後援会からの支出によるものです。本校の教育事業にご賛同いただける方は、会費を納入していただければ幸いです。

昨年度は 15 名の方々から、会費と寄附金合計 129,000 円を納めていただきました。ありがとうございます。

年会費:3000 円 賛助会費(一口):2000 円

郵便為替口座番号:00140-1-101927

JET 日本語学校後援会

2017 年度前期の「日本事情」クラス

「なめらか日本語」(釘持嘉一先生) 6/2~7/7

「歌えラララ」(荻原まき先生) ①7/14~9/8 ②7/24~9/11

「留学生活日記」(岡田亜子先生) 7/14~9/8

北区を知ろう！プレゼンテーション授業

昨年の北区観光ガイドマップ作り(北区地域振興部より依頼)に引き続き、今年も「住んでいる街、北区を知ろう！」をテーマに A クラスでプレゼンテーションを行いました。

12 月から下調べをはじめ、北区の魅力的なところを探しました。普段インターネットに頼り切っている学生たちが、自分たちの目と耳で実地に調べたことについて、立派にプレゼンテーションを行いました。発表当日(1月10日、17日)は、北区担当課の方々、北区中央図書館館長はじめ職員の方々が来て、コメントを述べてくださいました。(山口)



3人ずつのグループが、北区内の地域ごとに、観光スポットやおいしい食べ物の店などを「発掘」しました。

「教え子」が講師として来日

トリッティマー・ルッキラック(モー)さん(タイ・2006卒、写真中央)が、3月25日、国際交流基金主催の日本語教師向けのセミナーに講師として来日しました。中級の教科書『まるごと日本語』を使ったタイでの実践を報告してくれました。



JET からは 3 人の教師が参加して、教え子から学ばせていただく機会となりました。実際の使用場面を考えながら楽しく教えている様子が、モーさんの発表から

よくわかりました。

教授方法の工夫にも驚きましたが、彼女の流暢な日本語にも感激しました。「モーさんの学生さんは、きっと日本が好きになって、日本に留学したいと思うようになるでしょうね。」と参加者の先生方からうれしいコメントをいただいていた。さらなるご活躍を期待したいところです。(木村)

焼津で茶摘み体験＋ホームステイ

5月3日から5日、4名が焼津でホームステイをしました。いつもお盆と正月にお世話になっていますが、今回はこの時期ならではの茶摘みを体験することができました。茶葉の天ぷらなど、日本の家庭料理でもてなしていただき、東京ではなかなか味わえない日本の雰囲気を満喫し、学生たちは皆、焼津が大好きになって帰ってきました。ありがとうございました。

タイの高校生がやってきた！

4月18日と19日、タイのチットラーダ高校の生徒さん8名がJETに来校し、日本語を学び、交流活動を行ないました。

JETのタイ人留学生のアドバイスも受けながら、日本語でタイのことば、食べ物、お祭り、芸術の紹介をしてくれました。次に、チットラーダ校生のお手本を見ながらJETの学生たち20名も輪になってタイダンスをしたり、カタカナゲームや日本の唱歌『春が来た』を歌ったりして楽しいひと時を過ごしました。

チットラーダ高校はタイ王国唯一の王立学校で順天学園高校(北区)と20数年にわたって交流プログラムを行なっており、JETは2015年からそのお手伝いをしています。(得猪)



日本での就職、年間11名に

2016年度にJETの基礎科を卒業し、日本で就職活動を行なった13名のうち約7割に当たる9名が就職しました。途中退学して就職した2名を加えると11名で、過去最高となりました。国籍の内訳は台湾6名、タイ、シンガポール、香港、インドネシア、韓国が各1名です。

2017年度前期の「就職セミナー」

① 4月27日 ガイダンス

井上校長が、留学生の就職状況や、日本の会社の特徴、日本の企業が留学生に求めることなどを説明しました。第1回目のセミナーには、少しでも日本での就職に関心のある学生全員(約30名)が参加。

② 5月10日・17日 自己分析

どうして自分は日本で就職するのか、どうしてこの会社なのかなどを深く掘り下げて考え、面接でしっかりした自己紹介ができるようにしました。(担当・横山先生)

③ 5月24日・25日 模擬面接

留学生の就職指導のプロ(「リウカツネット」の松井講師)による面接練習をおこないました。お辞儀の仕方、姿勢や表情など、基本的なことをしっかり学びました。

④ 6月1日 会社経営者との意見交換会

東京商工会議所北支部の「きた経営塾」のご協力により、区内で会社を経営する5名の方々と意見交換会を行ないました。

JET、この30年

JET 日本語学校は2017年4月で創立30年目を迎えました。30年間の足跡を社会の出来事とともに振り返ります。

* * *

1987年5月 学校法人設立準備委員会が発足

1988年3月8日 東京都知事より学校法人柴永国際学園の設立が認可され、4月1日 JET 日本語学校が開校。台湾人学生1名で入学式。沖永嘉計理事長兼校長就任、柴田邦夫学園長、金美齢副校長、山崎琢磨事務局長。

1988年7月 中国人就学生81名入学。9月に65名、10月に82名、12月に24名入学し、在籍数は最大270名余りに。(学校の定員は本来150名であったが、当時は入国管理局の定めた定員枠により二部制で476名まで認められていた。)

1988年8月頃 東京入国管理局の審査が厳格化され、ビザの許可率が5割以下に。いわゆる「冬の時代」の始まり。

1989年4月 金美齢校長に就任

1989年5月 JET 日本語学校後援会設立

1990年8月 JET(及びその他15校)が上海市当局と朝日新聞から問題校扱いされたことを受け、金校長が記者会見を行ない、週刊文春に反論記事を発表。これを機に、中国からの学生募集を徐々に制限してゆくこととした。

1990年11月 日系ブラジル人向けの夜間クラス開講

1990年11月 柴田邦夫理事長就任

1991年1月 会話用テキスト『ENJOY YOUR DAYS IN TOKYO』発行

1991年5月 台湾の戒厳令が解除

1992年4月 横手房栄事務局長就任 (このとき在籍就学生数は54名)

1992年8月 事務所を1階から3階に移転し、教室は3階～5階のみを使用。(それまではビル全館を使用していた。)

1992年秋 金校長30数年ぶりの台湾帰国

1993年3月 JET 通信創刊、校旗完成

1993年4月 赤羽寮オープン

1994年4月 韓国入学生の本格的受け入れ開始(15名入学)

1995年1月17日 阪神淡路大震災

1995年3月20日 地下鉄サリン事件

1995年7月 第1回校内スピーチ大会

1996年4月 在籍者数が56名にまで落ち込む。

1997年7月 アジア通貨危機

1997年10月 蓮根寮オープン(個室)

1997年11月 金美齢理事長就任

1999年10月 在籍者数が153名(短期生含む)まで回復

2000年4月 周英明理事長就任、金美齢専務理事、井上靖夫校長。進学1年コースと進学1.5年コースが準備教育課程として文部省に認定される。日本語基礎科の年間授業時数を880時間に増やし、日本語進学科とともに全日制に。

2001年9月11日 アメリカ同時多発テロ

2002年4月 日本語教師養成講座開講(6か月、230時間のコース)

2003年春 SARS の流行

2004年10月 タイ政府派遣留学生(ODOS)第1期生20名受入れ。

2004年10月期以降、中国からの学生受け入れはゼロに。

2005年4月 金美齢理事長再び就任

2006年10月 タイ政府派遣留学生(ODOS)第2期生20名受入れ

2008年4月 環境大臣の依頼でツバルからの学生2名受入れ

2008年秋 リーマンショック。この頃より特に韓国の学生が減少。

2009年春 新型インフルエンザ流行

2010年5月 事業仕分けにより、日本語学校の審査認定のあり方が変わる。

2011年3月11日 東日本大震災により、入学辞退者相次ぐ。

2011年4月25日 新学期を約3週間遅らせ、在籍者数45名(留学38名、その他ビザ7名)、5クラスでスタート。

2012年10月 タイ政府派遣留学生(ODOS)第3期生10名受入れ。インドネシア人留学生本格的受け入れ開始。(8名入学)

2014年4月 越野充博理事長就任

2014年12月 タイ政府派遣留学生(ODOS)第4-3-1期生8名受入れ

2014年10月 金美齢名誉理事長が東京都の教育功労者として表彰

2015年10月 タイ政府派遣留学生(ODOS)第4-3-2期生4名受入れ。留学ビザの在籍者数だけで定員の150名に達する。(2006年10月以来9年ぶり。)

2016年7月 日本語学校の新たな告示基準(審査基準)制定、2017年8月施行

学 校 日 誌

●2月13日・16日 進学科卒業試験(日本語・英語) ●2月23日 専門学校フェア(QtoJAPON 主催) ●3月 講師室を事務所に移設、元講師室は理事長室兼会議室に ●4月 昨年の秋以来の校舎ビル外壁補修工事終了 ●4月26日・27日 校内日本語模擬試験 ●5月11日～16日 早稲田大学大学院日本語教育研究科の8名が進学クラスを見学。 ●5月15日 世界史の特別授業 ●5月24日・25日 校内日本語模擬試験

新任教師(専任)2名

2017年度は新任2人を加えた専任教師7名、非常勤講師7名の合計14名の教師陣で授業にあたります。

【新任からのメッセージ】

草塩仁美(くさしおひとみ)先生 (前列左から2番目)

愛知県の日本語学校で教えていました。JETは学生も先生方もまじめで熱心な方ばかりで、日々やりがいを感じています。新しい環境で、様々なことに挑戦し、皆さんと一緒に成長していきたいです。

岡田安弘(おかだやすひろ)先生 (前列右から2番目)

私はタイで教えていました。皆さんは留学する前に様々な決意をしたと思います。国を越えて何かを学ぼうとすることは大変なこと。その決意に敬意を表します。いっしょに頑張りましょう!



大学生と春の遠足

5月12日、葛西臨海公園にて春の遠足が行われました。当日は、明治大学や拓殖大学から日本人の大学生 10 名も参加し、JET の学生と交流しました。

まずは青空の下でクラスごとに各国料理を調理しました。中には「初めて自分で料理を作った」という学生も…。みんなで準備したおいしい料理で、心も体も大満足。

昼食後はお待ちかねのゲーム大会！ドッジボールや五人六脚など、白熱した闘いが繰り広げられました。

遠足後、「教室ではわからなかった友達のいいところがわかって良かった」という声も聞こえ、クラスの絆も深まったようです。JET 卒業後も思い出に残る、素敵な一日になったのではないのでしょうか。



ア ク テ イ ウ イ テ イ

- 12月31日～1月2日 代々木のオリンピックセンターで行われた「世界の仲間とゆく年くる年」(国立青少年教育振興機構主催)に2名参加。
- 1月6日・25日・26日 北区の防災センターで**防災訓練**
- 1月16日・20日 **進路説明会**。大学、大学院、専門学校への進学希望者を対象に、校内で説明会を実施しました。
- 1月18日 **映画上映会**。林弘樹監督の日本映画『惑う after the rain』の封切り前特別上映会を校内で行いました。越野理事長の計らいです。家族とは何か、人生の喜びとは何かを深く考えさせられる映画でした。約30名で観賞。初級の学生には難しいかと思われましたが、涙を流しながら見ている姿も見られ、みな感動していました。



上映会の後、プロデューサーの武藤直樹さんがこの映画にかけるといって熱い思いを話してくれました。学生からの質問にも丁寧に答えてくださいました。

- 1月29日 **音楽鑑賞会**。高田馬場管弦楽団の定期演奏会に4名が招待され、ベルリオーズの「幻想交響曲」などの迫力あるオーケストラ演奏を楽しみました。
 - 2月3日 節分の**豆まき**
 - 2月5日 北とびあで、神田京子の**講談や落語、太神楽**などを4名が鑑賞。(得猪先生の招待)
 - 2月5日 両国国技館で行われた**大相撲トーナメント**(フジテレビジョン主催)を、35名が観戦。
 - 2月7日～12日 **北海道ホームステイ**「国際交流冬のつどい」(北海道国際交流センター主催)に2名参加
 - 2月8日～13日 **北海道・標津ホームステイ**(共立国際交流奨学財団主催)に4名参加
 - 2月13日～18日 **沖縄ホームステイ**(共立国際交流奨学財団主催)に2名参加
 - 2月19日 北区の「日本文化体験」に11名が参加。**茶道、折り紙、琴、生け花**などを体験しました。
 - 2月23日 板橋区主催の「**味噌づくり体験**」に3名参加
 - 2月23日・28日 得猪先生による**茶道体験教室**
 - 2月26日～3月1日 「留学生冬のスポーツフェア in 野沢温泉スキー場」(NPO 留学生スポーツ交流協会主催)に15名参加。
 - 2月27日 専門学校ヒコみづのジュエリーカレッジの体験授業を校内で実施。7名が**アクセサリ作り**。
 - 3月2日 得猪先生による**茶道体験教室**
 - 3月12日 板橋区主催の「**鎧の着付けと茶道体験ツアー**」に4名が参加
 - 3月19日～26日 **九州ホームステイ**「からいも交流・春」(NPO からいも交流主催)に1名が参加。
 - 3月20日 **日本舞踊**「東京充の会」の発表会に3名参加
- * * *
- 4月5日 新学期がスタートし、各クラスで親睦を深める**お花見会**。飛鳥山公園や石神井川沿いの見事な桜を觀賞しました。
 - 5月27日 **東京国際フランス学園(リセ)**の学園祭に招待されました。JET から 10 数名が参加。アート作品や本場のデザートを楽しみました。

大学生との交流活動

早稲田大、慶応大、明治大らと

- 2月24日 Gクラスと H クラスに、明治大、専修大、拓殖大、女子栄養大の大学生 10 名を招き、交流授業を実施。



- 4月8日 SNIE(大学生の国際交流団体)によるお花見会に1名参加。
- 4月26日 早稲田大学の国際交流サークル WIC の「日本教室」に新入生ら 28 名が参加。早めにキャンパスに着いた学生たちは、校長先生の案内により、大学の図書館内も見学することができました。